

カザフスタン

Republic of Kazakhstan

	2014年	2015年	2016年
①人口:1,793万人(2017年1月1日)			
②面積:272万4,900km ²			
③1人当たりGDP:7,453米ドル (2016年)			
④実質GDP成長率(%)	4.2	1.2	1.0
⑤消費者物価上昇率(%)	7.4	13.6	8.5
⑥失業率(%)	5.0	5.0	5.0
⑦貿易収支(100万米ドル)	36,246	12,671	9,432
⑧経常収支(100万米ドル)	6,140	△5,142	△8,518
⑨外貨準備高(100万米ドル)	21,814	20,295	19,916
⑩対外債務残高(グロス) (100万米ドル)	157,562	153,381	163,758
⑪為替レート(1米ドルにつき、 テンゲ、期中平均)	179.19	221.73	342.16

〔注〕③:推計値、⑤:各年12月の前年同月比、⑦:国際収支ベース(財のみ)

〔出所〕①②④~⑥:カザフスタン国民経済省統計委員会、③⑨⑩:IMF、⑦⑧⑪:カザフスタン中央銀行

2016年のカザフスタン経済は原油価格の低迷と主要貿易相手国の需要減退により実質GDP成長率で1%の低成長にとどまった。しかし、2016年9月のカシャガン油田の商業生産開始に伴い、対内直接投資は前年比で4割増加。経済危機対策によるインフラ投資などの効果も表れはじめたことなどから、政府は2017年の経済成長を2%超、IMFやADBは2.5%前後と予測している。

■経済危機対策によりプラス成長を維持

カザフスタン国民経済省統計委員会によると、2016年の実質GDP成長率は前年比1.0%であったが、前年実績の1.2%からは0.2ポイント低下した。鉱物資源の輸出に依存するカザフスタン経済は、2013年に6.0%成長を記録して以降、原油価格の低迷を背景として減速傾向が続いている。

産業別では、鉱工業生産が前年比1.1%減、なかでも主要産業の鉱業・採掘部門が2.7%減だった。一方、農業生産は5.2%増、建設が7.9%増、運輸・倉庫が3.7%増とそれぞれ経済成長に寄与した。政府は、2014年11月にナザルバエフ大統領が提起した財政支援を核とする「光明の道」という経済対策に取り組んでいる。これは、原油輸出で蓄積した総額90億ドルに上る資金をインフラ整備、住宅建設、中小企業支援などに活用するものだ。2016年度の経済成長はこの施策の効果が表れてきたものと捉えられている。

一方、原油価格の低迷やこれに伴う輸出額の減少、通貨テンゲの下落により国際収支上の対外ポジションは悪化した。貿易黒字の縮小により経常収支の赤字額が85億ドルと、前年比で65.7%拡大した。通貨テンゲは2015年8月に完全変動相場制に移行したが、為替レートは1ドル=180テンゲの水準から同年12月には340テンゲまで急落。このため輸入価格が上昇し、消費者物価は前年同月比13.6%上昇となった。これに対し、中央銀行はテンゲ預金の利息引き上げと為替介入を行い、為替相場の安定化を図った。その結果、テンゲの対ドルレートは下げ止まり、2016年通年では1ドル=342.16テンゲ、2017年

に入ると310~330テンゲの間で推移している。消費者物価も落ち着きを取り戻し、2016年の上昇率は前年を5.1ポイント下回る8.5%にとどまった。2017年に入ってから0.8%(1月)~3.8%(7月)で推移している。

2017年の経済成長見通しについて、スレイメノフ国民経済相は、北カスピ海沖合鉱区・カシャガン油田での原油の増産や「光明の道」政策の適切な実施により、少なくとも2%の成長を見込んでいる(2017年2月)。また、国際通貨基金(IMF)は2.5%(2017年5月発表)、アジア開発銀行(ADB)も2.6%(2017年7月発表)の経済成長を予測している。

■貿易は縮小、投資は原油採掘中心に4割増

カザフスタン国民経済省統計委員会によると、2016年の貿易(通関ベース)は、輸出が前年比20.0%減の367億7,561万ドル、輸入が17.6%減の251億7,483万ドルだった。輸出額減少の大きな要因は原油価格の下落である。カザフスタンの輸出の65%を占める鉱物製品は、数量ベースでは前年比4%程度の減少だったが、金額ベースでは27.1%の大幅減だった(表2)。

主要輸出相手国の経済不調も輸出減少の1つの要因である。中国は成長がやや減速し、ロシアはマイナス成長。イタリア、オランダ、スイス、フランス各国も2016年のGDP成長率は1~2%で、対カザフスタンに限らずスイス以外の国では輸入は前年比減だった。ちなみに、これら欧州諸国へのカザフスタンの主要輸出品目は原油を中心とする鉱物製品で、各国への輸出に占める比率は9割以上だ。対中国輸出ではその4割を占める原油輸出が半減し、2

割を占めるウラン鉱石も3割減。対ロシアでは構成比2割の原油・石炭、同じく2割のウラン鉱石がそれぞれ7割減、4割減となった。

一方輸入は、構成比36.3%を占め、最大の輸入相手国であるロシアが輸入額の1割を占める石油・歴青油(原油を除く)で前年比3割減となったほか、乗用車も半減した。構成比14.6%で2位の中国は、3割を占める機械類(前年比37.1%減)、2割の電気機械(同22.4%減)が大きく減少した。

カザフスタン中央銀行によると、2016年の対内直接投資額(実行ベース、グロス、フロー)は206億3,700万ドルで、前年比39.9%増となった。分野別にみると、原油・天然ガス採掘分野への投資額が前年比105.3%増の57億1,970万ドル(構成比27.7%)となった。これは2016年9月にカシャガン油田の商業生産が開始されたことに関連している。過去投資額の大きかった地質探査分野は12.5%減の47億8,080万ドル(23.2%)となった。製造分野では鉄鋼・金属分野への投資が85.8%増の32億6,070万ドル(15.5%)となったほか、卸売・小売分野(自動車修理などを含む)が51.4%増の22億8,470万ドル(14.0%)となっている。

■対日貿易は輸出入ともに減少

日本の貿易統計(通関ベース・ドル換算)によると、2016年の対カザフスタン輸出は1億9,248万ドル(前年比20.0%減)、輸入は5億7,623万ドル(28.6%減)で3億8,375万ドルの日本側の赤字だった。日本の最大の輸出品目である自動車は、40.8%増で輸出の7割を占めた。その他の製品は不振となるものが多く、一般機械はポンプ、加熱用・冷却用機器、建機などを中心に69.5%減、鉄鋼は99.7%減だった。輸入は6割を占めるフェロアロイが16.6%減、3割を占める原油が50.9%減と大幅に減少した。

2016年11月にナザルバエフ大統領が8年ぶりに訪日、原子力、鉱物資源、運輸・物流分野など様々な分野での日本の協力を期待を表明した。安倍総理は、貿易投資関係の発展には、カザフスタンの投資環境の更なる改善が必要であると述べ、両国政府はそのための現地ベースの協議枠組みの設置に合意した。大統領訪日に合わせて開催された第6回日本カザフスタン経済官民合同協議会では、「日本・カザフスタン経済関係発展のための優先課題—新分野開拓への具体的アプローチ」をテーマに、両

表1 カザフスタンの主要国別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)				
輸出 (FOB)				
	2015年		2016年	
	金額	金額	構成比	伸び率
イタリア	8,136	7,475	20.3	△8.1
中国	5,480	4,215	11.5	△23.1
ロシア	4,548	3,509	9.5	△22.8
オランダ	4,981	3,256	8.9	△34.6
スイス	2,659	2,688	7.3	1.1
フランス	2,681	1,798	4.9	△32.9
スペイン	1,219	992	2.7	△18.6
ギリシャ	1,260	873	2.4	△30.7
トルコ	1,275	851	2.3	△33.3
ルーマニア	1,343	724	2.0	△46.1
日本	859	559	1.5	△34.9
合計(その他含む)	45,956	36,776	100.0	△20.0
輸入 (CIF)				
	2015年		2016年	
	金額	金額	構成比	伸び率
ロシア	10,529	9,130	36.3	△13.3
中国	5,088	3,666	14.6	△27.9
ドイツ	1,986	1,444	5.7	△27.3
米国	1,472	1,270	5.0	△13.7
イタリア	1,174	834	3.3	△29.0
ウクライナ	827	435	1.7	△47.4
トルコ	742	618	2.5	△16.7
ウズベキスタン	727	588	2.3	△19.1
フランス	671	661	2.6	△1.5
韓国	607	453	1.8	△25.4
日本	585	553	2.2	△5.5
合計(その他含む)	30,568	25,175	100.0	△17.6

[出所] カザフスタン国民経済省統計委員会

表2 カザフスタンの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)								
	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2015年		2016年		2015年		2016年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
食料品・同原材料	2,136	2,129	5.8	△0.3	3,393	3,037	12.1	△10.5
鉱物製品	32,753	23,888	65.0	△27.1	1,682	2,289	9.1	36.1
化学製品(ゴム・プラスチックを含む)	3,359	2,654	7.2	△21.0	4,549	4,048	16.1	△11.0
卑金属・同製品	6,015	6,156	16.7	2.3	4,086	3,157	12.5	△22.7
機械・設備・輸送機器・電気機器	649	708	1.9	9.1	12,350	9,515	37.8	△23.0
合計(その他含む)	45,956	36,776	100.0	△20.0	30,568	25,175	100.0	△17.6

[出所] カザフスタン国民経済省統計委員会

表3 カザフスタンの主要国別対内直接投資<実行ベース、グロス、フロー>

(単位:100万ドル、%)				
	2015年		2016年	
	金額	金額	金額	伸び率
オランダ	5,736	7,656	33.5	
米国	2,772	3,424	23.5	
スイス	1,865	2,589	38.8	
フランス	934	1,137	21.7	
中国	442	961	117.4	
ロシア	528	867	64.2	
ベルギー	693	711	2.6	
英国	372	685	84.1	
日本	392	471	20.2	
韓国	395	358	△9.4	
合計(その他含む)	14,752	20,637	39.9	

[出所] カザフスタン中央銀行

国の企業・政府代表によるプレゼンテーションや議論が行われたほか、金融・保険、プラント建設分野等で12の覚書や協力協定への署名が行われた。